

2025 年 4 月 16 日

各 位

会 社 名 ニデック株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 岸田 光哉
取 引 所 東証プライム (6594)
所 在 地 京都市南区久世殿城町 338
問合先 コーポレートコミュニケーション部長 渡邊 啓太
電 話 (075)935-6150

**株式会社牧野フライス製作所（証券コード：6135）の買収防衛策に基づく新株予約権無償割当ての
差止仮処分の申立てに関するお知らせ**

当社は、2025 年 4 月 3 日付「株式会社牧野フライス製作所（証券コード：6135）に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」（2025 年 4 月 7 日付「（訂正）株式会社牧野フライス製作所（証券コード：6135）に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」の一部訂正に関するお知らせ」で訂正された事項を含みます。）でお知らせいたしましたとおり、2025 年 4 月 3 日付の当社取締役会決議により、株式会社牧野フライス製作所（株式会社東京証券取引所プライム市場上場、以下「対象者」といいます。）を当社の完全子会社とすることを目的とする一連の取引（以下「本取引」といいます。）の一環として、対象者の普通株式を金融商品取引法（昭和 23 年法律第 25 号。その後の改正を含みます。）による公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）により取得することを決定し、2025 年 4 月 4 日より本公開買付けを実施しております。

これに関連して、対象者は、対象者の 2025 年 4 月 10 日付プレスリリース「買収への対応方針（時間確保措置）に基づく新株予約権の無償割当て、新株予約権の無償割当てに係る基準日設定、及び、株主意思確認を第 86 回定時株主総会において行うことのお知らせ」（以下「対象者プレスリリース」といいます。）に記載のとおり、同日付の対象者取締役会において、(i)本対応方針（注）に基づき、対象者プレスリリースの別紙 1 に記載の第 1 回 A 新株予約権（以下「本新株予約権」といいます。）を対象者株主の皆様は無償で割り当てること（以下「本対抗措置」といいます。）、(ii)2025 年 6 月 26 日を本新株予約権の無償割当てに係る基準日と定め、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された対象者株主の皆様をもって、本新株予約権の無償割当てを受ける対象者株主の皆様と定めること、及び(iii)本対抗措置の発動について対象者株主の皆様の意思を確認するため、2025 年 6 月に開催予定の対象者定時株主総会を株主意思確認総会として、本対抗措置の発動について対象者株主の皆様の意思を確認する議案を付議することを決議しました。

（注）「本対応方針」とは、2025 年 3 月 19 日付の対象者取締役会にて導入することが決定された、本公開買付けへの対応方針をいいます。詳細については、対象者の 2025 年 3 月 19 日付プレスリリース「ニデック株式会社による当社株式に係る公開買付け（予告）につき、第三者提案の具体化・検討のために必要な時間を確保することのみを目的とする、当社の会社の支配に関する基本方針及び当社株式の大規模買付行為等への対応方針（買収への対応方針）の導入に関するお知らせ」をご参照ください。

これに対し、当社は、本日、本新株予約権の無償割当てを仮に差止めるため仮処分命令の申立て（以下「本申立て」といいます。）を行いましたので、その旨お知らせいたします。

本申立ての概要、本申立てに至る経緯、本申立ての意義及び申し立ての理由につきましては、後日、当社のホームページに掲載することを予定しております資料をご参照ください。

以上

【勧誘規制】 本文書は、本公開買付けを一般に公表する目的で作成された発表文であり、売付けの勧誘を目的として作成されたものではありません。売付けの申込みをされる際は、必ず本公開買付けに関する公開買付説明書をご覧いただいた上で、株主ご自身の判断で申込みを行ってください。本文書は、有価証券に係る購入申込みもしくは売却の申込みの勧誘に該当する、又はその一部を構成するものではなく、本文書（もしくはその一部）又はその配布の事実が本公開買付けに係るいかなる契約の根拠となることもなく、また、契約締結に際してこれらに依拠することはできないものとします。

【将来予測】 本文書にはニデック株式会社（以下「公開買付者」といいます。）、その他の企業等の今後のビジネスに関するものを含めて、「予期する」、「予想する」、「意図する」、「予定する」、「確信する」、「想定する」等の、将来の見通しに関する記載が含まれている場合があります。こうした記載は、公開買付者の現時点での事業見通しに基づくものであり、今後の進展により変わる可能性があります。公開買付者は、本情報について、実際の業績や諸々の状況、条件の変更等を反映するための将来の見通しに関する記載の現行化の義務を負うものではありません。本文書の記載には、米国 1933 年証券法（Securities Act of 1933。その後の改正を含みます。）第 27A 条及び米国 1934 年証券取引所法第 21E 条で定義された「将来に関する記述」（forward-looking statements）が含まれています。既知若しくは未知のリスク、不確実性又はその他の要因により、実際の結果が「将来に関する記述」として明示的又は黙示的に示された予測等と大きく異なることがあります。公開買付者又は関連者（affiliate）は、「将来に関する記述」として明示的又は黙示的に示された予測等が結果的に正しくなることをお約束することはできません。本文書中の「将来に関する記述」は、本日時点で公開買付者が有する情報を基に作成されたものであり、法令又は金融商品取引所規則で義務付けられている場合を除き、公開買付者又はその関連者は、将来の事象や状況を反映するために、その記述を更新したり修正したりする義務を負うものではありません。

【米国規制】 本公開買付けは、日本の金融商品取引法で定められた手続及び情報開示基準を順守して実施されますが、これらの手続及び基準は、米国における手続及び情報開示基準とは必ずしも同じではありません。特に米国 1934 年証券取引所法（Securities Exchange Act of 1934。その後の改正を含み、以下「米国 1934 年証券取引所法」といいます。）第 13 条(e)又は第 14 条(d)及び同条の下で定められた規則は本公開買付けには適用されず、本公開買付けはこれらの手続及び基準に沿ったものではありません。本文書に含まれる全ての財務情報は米国の財務情報と同等の内容とは限りません。また、公開買付者及び対象者（株式会社牧野フライス製作所）は米国外で設立された法人であり、その役員が米国外の居住者であるため、米国の証券関連法を根拠としてこれらの者に対して権利行使又は請求することが困難となる可能性があります。また、米国の証券関連法の違反を根拠として、米国外の法人又はその役員に対して、米国外の裁判所において法的手続を開始することができない可能性があります。さらに、米国外の法人又はその役員について米国の裁判所の管轄が認められるとは限りません。本公開買付けに関する全ての手続は、特段の記載がない限り、全て日本語において行われるものとします。本公開買付けに関する書類の全部又は一部については英語で作成されますが、当該英語の書類と日本語の書類との間に齟齬が存した場合には、日本語の書類が優先するものとします。

【その他の国】 国又は地域によっては、本文書の発表、発行又は配布に法律上の制限が課されている場合があります。かかる場合はそれらの制限に留意し、遵守してください。本公開買付けに関する株券の買付け等の申込み又は売付け等の申込みの勧誘をしたことにはならず、単に情報としての資料配布とみなされるものとします。